

伊藤 正・貞子 絵画展

伊藤正・貞子コレクションの中から、
人物画、滞欧作品、風景画などの17点を展示いたします。



「標」
1967年 伊藤 正



「修道院の庭」
1961年 伊藤 貞子

伊藤正（1915年～1989年）は、戦後間もない頃の道展再建に尽力し、さらに学校教育の場においても活躍した北海道を代表する画家の一人です。生涯にわたり写実の世界を追求し続け、愛する家族や身近な風景、幾度か滞在したフランスの街並みなどを描いた作品を数多く遺しています。故郷札幌では道展（1971年退会）、中央では日展や一水会に出品し、数々の賞を受けるなど華々しく活躍しました。

彼の妻である伊藤貞子（1922年～1966年）も夫を支えながら自らも道展や一水会において入賞するなど活躍しましたが、ガン性腹膜炎のため43歳という若さで生涯を終えました。

夫婦ともに画家としてお互いを高めあって生きた二人の作品をこの機会にぜひご覧ください。

入場
無料

2026年 10月24日(土)～11月3日(火・祝)

【会場】 くりやまカルチャープラザ「Eki」 2階町民ギャラリー
栗山町中央2丁目1番地（JR栗山駅直通）
TEL 0123-73-3333

【主催】 栗山町教育委員会社会教育課
TEL 0123-72-1117

本展の見どころ

●栗山町の財産として受け継がれる日本とヨーロッパの「美」

作品は画伯の没後1996年6月に長女伊藤鞆子さんから当町に寄贈賜ったものです。今回はそのうち人物画、滞欧作品、風景画の計17点を展示します。画伯愛用のパレットや絵筆、トランク等も展示し、作品と併せて画伯の強い情熱やエネルギーを感じ取れる所が見どころです。



「緑窓」
1945年 伊藤 正



「モンマルトルのぶどう祭」
1963年 伊藤 貞子

展示予定作品一覧

【伊藤 正 作品】

作品名	制作（年）	寸法（mm）
緑 窓	1945	890×1150
夏 苑	1949	710×895
雪の牧舎	1955	370×450
少 女 像	1956	445×370
帽子の女	1959	1150×885
ノートル・ダム・ド・パリ	1962	895×710
ブリズミッシュ通りの家	1963	895×710
アヴェ・マリア通りの家	1963	910×1090
標	1967	980×530
自 画 像	1975	430×360
漁船のある風景	不詳 (1950年代後半)	380×455

【伊藤 貞子 作品】

作品名	制作（年）	寸法（mm）
マリア院（祈り）	1954	1167×910
最後の晚餐	1957	1167×910
聖 夜	1958	1620×970
修道院の庭	1961	1167×910
モンマルトルのぶどう祭	1963	1167×910
ブルターニュの家	1965	1455×1120
【技法】…油彩 【画材】…キャンバス ※両名共通		

作 者 紹 介

伊藤 正（1915－1989）

北海道札幌市出身。家族の肖像や旅先の風景などを写実的に表現した作風で知られ、戦後の「道展」の発展に寄与されました。50年に及ぶ制作活動で身近な人物や1年間滞在したヨーロッパの街並み風景、北大第2農場、道内風景を数多く描き、数々の受賞作品を残しています。日展会員・審査員・菊華賞。一水会常任委員。

伊藤 貞子（1922－1966）

北海道札幌市出身。1944年正氏と結婚。1962年渡欧。夫を支えながら自らも道展や一水会において入賞するなど43歳で早世するまで、カトリックの信仰に裏打ちされた静謐な作品を描き続けました。自宅アトリエでは絵画教室を開き、大勢の子どもたちに絵の指導を行いました。一水会会員・道展会員。